

オール重井で協働のまちをつくり隊

尾道市重井公民館



重井中学校 × 重井公民館 地域のシンボル 白滝山

公民館の沿革・年表

- 昭和33年 因島市重井町に重井公民館 設置
- 昭和38年 重井公民館 新築落成
- 昭和58年 因島大橋 開通
- 平成14年 現重井公民館 新築落成
- 平成18年 尾道市と合併 尾道市重井公民館

左図・写真の説明等など（PRポイントなども可）

重井町のシンボル 白滝山への 新入生歓迎登山遠足

自分ではめったに登らない白滝山頂から
ふるさと重井町全域と水平線を臨み、
生徒は「重井の子ども」であることを、
再認識します。

| | | | | | | |
|------------------------------------|--|--|--|--|-------|--|
| 1. 都道府県名 | 広島県 | 3. 公民館対象人口 | 3,400人 | 5. 来館者のインターネット接続環境 | 無し | |
| 2. 市区町村名 | 尾道市因島重井町 | 4. 建物設置年月日 | 昭和33年4月 | 6. 来館者のインターネット接続最大端末数 | 0台 | |
| 7. 運営主体 | <input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 () | | | | | |
| 8. 来館者数 | <input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 1250人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 3888人 () | <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 4774人 | <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 50人 | 合計 | 9962人 | |
| 9. 職員数 | <input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input type="checkbox"/> 非常勤 | <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 | | (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 3人(公民館運営協議会職員2人) | | |
| 10. 予算 | <input type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 () | | | | | |
| 11. 公民館運営審議会 | <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 () | | | | | |
| 12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類 | <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> その他 () | <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり | <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 | <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 | | |
| 13. 施設の特徴、魅力 | <input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (老人集会所) | | | | | |
| 14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述) | <input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (重井町区長会 民生委員児童委員協議会 重井地区社会福祉協議会 重井町文化財協会 重井町老人クラブ 重井公民館運営協議会 因島鉄工業団地 因島商工会議所 PLUSink等) | | | | | |

尾道市重井公民館

OPEN 9:00~21:30

H P <https://www.city.onomichi.hiroshima.jp/site/kvoiku/3101.html>

TEL 0845-25-0016

SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

以前は「除虫菊の里」として因島の中で隆盛を極めた重井町も、時代の変遷の中で人口が3,400人ほどに減少し、人口の減少とともに少子高齢化が進む地域となった。住民のニーズは交流人口の増加と持続可能な地域づくりであり、地域づくりの基盤は「人づくり」であると考え。こうした中、重井中学校は「SDG's」を総合的な学習の時間のメインテーマに据えた取組を進めており、コミュニティの中核である公民館がハブとなって中学校教育に地域人材や地域資源を提供することで、「社会に開かれた教育課程」実現の一助になろうとした。地域の宝である学校を地域内の諸団体が「協働」して支援することで、持続可能な地域づくりに貢献できる人材を育成しようとするための取組である。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【オール重井で協働のまちづくり隊（子どもの体験学習、若者のまちづくり参画、防災、地域資源を活用したまちづくり）】

重井中学校は、地域を知り、地域を体験し、地域の未来を考え、自分はどう生きるかを考えるストーリーで「持続可能な地域」「持続可能な社会」を学ぶ「SDG's」を総合的な学習の時間に位置づけており、公民館を会場とした授業や、公民館が紹介したゲストティーチャーによる授業を展開している。令和2年度には、次のような各学年の学習を公民館として支援した。

● 1年生 重井を知る

○ 7月29日（水）夏季特別講座（ふるさと学習）

- ①重井の昔と今 ②因島の花「除虫菊」③重井の農業の秘密と魅力④重井のシンボル白滝山
⑤ものづくりの魅力 の講師を選定し中学校へ紹介した。

○ 1月5日（木）炊き出し体験学習

平成30年7月の西日本豪雨では重井町も甚大な被害を受け、その傷跡が現在も残っており、少子高齢化が進む町内においては中学生も避難所運営に携われる人材になってほしいという期待から、公民館の炊き出しセットを使用してもらい、災害時について考えてもらった。

● 2年生 重井を体験する

○ 8月25日（火）「生き方」講座

地域の名産である「はっさく大福」の製造業者を中学校へ紹介し、「はっさく大福」に込めた思い、ふるさとを愛する思いを学習してもらった。

○ 3月1日（月）「はっさく大福」づくり体験学習

8月の「生き方」講座の講師に体験学習を依頼し実施した。生徒に「はっさく大福や地域に愛着がわいた」「地域の名産を広めたい」という感想をもたせることができた。

● 3年生 重井の未来と自分の生き方を考える

○ 2月22日（月）「持続可能な重井を考える」講座

大阪で活躍している重井町出身のコピーライターと、横浜と因島大浜の両方にオフィスを構えるデザイン会社の経営者を講師として中学校へ紹介し、卒業を控えた3年生が将来の自分に思いを巡らせ重井とどう関わっていくかについて考えてもらった。



夏季特別講座「重井の昔と今」



炊き出し体験「紙の皿づくり」



「はっさく大福」づくり体験

3. 取組による成果や効果

- 重井公民館と連携した教育について中学校が紹介した「学校だより」を地域に配布することで、地域の学校教育への関心が高まった。
- 地域の学校教育への関心が高まり、子供や孫が中学校に在籍していなくても、学校行事を参観する地域住民が増加した。
- 中学校が行うアンケートや作文に「地域や公民館への感謝」「自分たちは地域に支えていただいている」ことを記す生徒が増加した。



「持続可能な重井を考える」講座

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 中学校が行う生徒アンケートや保護者アンケートを活用した検証と改善を行う。
- 重井公民館運営協議会において成果や効果と改善策について協議する。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

○改訂された中学校学習指導要領の実施に伴い、地域の宝であり、地域の要でもある学校には「社会に開かれた教育課程」の実施が求められている。教育における最大要素の一つが「人」であり、地域の人材バンクである公民館が「協働のまちづくり」を進めることで「社会に開かれた教育課程」を実現したい。



学校行事を参観する地域の皆様

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

○これまでの取組で公民館をハブとした、地域と中学校の関係を構築してきた。今後は義務教育9年間を通した「持続可能な重井」に貢献できる人づくりをめざしていきたい。現在、小中学校が組織している「重井教育研究会」の運営にも参加し、地域と一体となった学校教育の推進に貢献したい。



持続可能な地域を担う子供の育成